石屋　辰右衛門

町山口川へ壊れない橋を架けたい
それは石橋しかない
村人の篤い想いを願いを
下浦石工元祖　松室五郎左衛門の技を引く継ぐ
辰右衛門は一大決心をして引き受けた
前代未聞の大工事
村人にとっても前代未聞の大事業
失敗は許されない
叡智をしぼり造る石橋はがっちりした岩盤に目を付け
桁梁橋に決定す
下浦石工　村人総意は困難を克服し実を結び
遂に見事な石橋が完成する
架橋に命を懸けた辰右衛門　完成の喜びを見届けて亡くなるが
百八十年後も石橋が健在と流石の辰右衛門も予想しただろうか
石橋は、祇園社の前に架けられたことから
いつしか祇園橋と呼ばれるようになった
その歴史的価値は後世　国の重要文化財となる
我々はいつまでも辰右衛門の功績を讃え
祇園石橋を見守り護って行こう

上・祇園橋　下左・辰衛門の墓（下浦町石場地区共同墓地）
中・祇園橋架橋記念碑
右・架橋記念碑の石屋辰右衛門の刻字